

プログラム

セッション名
発表順
会場番号
1-S-1

11月23日(土)

第1会場 (1F メインアリーナ)

13:00～14:30 市民公開講座

座長 浅見 豊子 (佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科 診療教授)

- 1-PL 　　いつまでも健康で美しく歩く身体へ
　　～世界一のミスが教える転ばない歩き方～
　　吉松 育美
　　ミスインターナショナル2012 世界一
　　合同会社 IY GLOBAL 代表

11月24日(日)

第1会場 (1F メインアリーナ)

8:55~9:00 開会式

9:00~9:30 会長講演

座長 梅原 里実 (高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 教授)
上内 哲男 (東京新宿メディカルセンター リハビリテーション室 理学療法士長)

1-PA 家庭でも職場でも社会でも転ばない in SAGA ~私の場合~

浅見 豊子
佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科 診療教授

9:40~10:40 特別企画

座長 金森 雅夫 (羽衣国際大学人間生活学部食物栄養学科 特別教授)
岡田 真平 (公益財団法人身体教育医学研究所 所長)

1-SE-1 認知症を有する高齢者の行動と転倒予防

梅原 里実
高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 教授

1-SE-2 転倒予防ガイドライン (Age and Aging 2022) を踏まえた理学療法士の果たすべき役割

上内 哲男
東京新宿メディカルセンター リハビリテーション室 理学療法士長

1-SE-3 私の転倒予防小史

内田 泰彦
健康リハビリテーション内田病院 院長

10:50~11:50 学会20周年記念講演 「転倒予防のこれまでとこれから」

座長 大高 洋平 (藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座 主任教授)
鈴木 みずえ (浜松医科大学臨床看護学講座 教授)

1-ML-1 転倒予防のこれまでとこれから~日本転倒予防学会のこれまで、その理念と実践の系譜~

武藤 芳照
東京健康リハビリテーション総合研究所 所長
東京大学 名誉教授
日本転倒予防学会 初代理事長・名誉会員

1-ML-2 転倒予防~温故知新~

萩野 浩
山陰労災病院 院長
日本転倒予防学会 代表理事

12:00~12:20 会員協議会

12:30~13:30 ランチョンセミナー1 「認知症と転倒予防」

共催：エーザイ株式会社

座長 武藤 芳照 (東京健康リハビリテーション総合研究所 所長/日本転倒予防学会 初代理事長・名誉会員)

1-LS1-1 認知症患者の転倒予防対策

鈴木 みずえ
浜松医科大学 看護学科 老年看護学 教授

1-LS1-2 早期から介入する認知症医療

ーアルツハイマー病の新たな治療時代を迎えてー
橋本 学
国立病院機構 肥前精神医療センター 認知症疾患医療センター長

13:40~15:10 メインシンポジウム 「家庭でも職場でも社会でも転ばない！ in SAGA」

座長 平野 哲 (藤田医科大学七栗記念病院 リハビリテーション科 臨床教授)
内田 泰彦 (健康リハビリテーション内田病院 院長)

1-MS-1 在宅における転倒と骨折の現状とその予防

大高 洋平
藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座 主任教授

1-MS-2 職場でも転ばない！ in SAGA

三浦 裕正
九州労災病院 院長

1-MS-3 乗合バスにおける車内事故防止に係る国土交通省の取組について

加山 聡一
国土交通省 物流・自動車局 安全政策課 安全監理第一係長

15:20~16:20 スイーツセミナー1

共催：オージー技研株式会社

座長 佐藤 健仁 (佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科 介護ロボット普及コーディネーター)

1-SW1 歩行リハビリテーションにおけるリハビリテーションロボットの活用

浅見 豊子
佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科 診療教授

座長 浅見 豊子 (佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科 診療教授)

1-SS2

転倒予防に貢献するサイバニクス医療健康イノベーション

～病院・家庭・職場が繋がり、転倒予防を日常化する社会に向けて～

山海 嘉之

CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長／CEO

筑波大学システム情報系 教授

サイバニクス研究センター 研究統括

未来社会工学開発研究センター／F-MIRAI センター長

内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) プログラムディレクター

17：30～

閉会式

第2会場 (1F メインアリーナ)

9:40~11:10 特別シンポジウム1 「スポーツと転倒」

座長 青木 隆明 (岐阜大学大学院医学系研究科リハビリテーション科 臨床教授)
牧迫 飛雄馬 (鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻 教授)

2-SPS1-1 柔道を活かした転倒予防

三上 靖夫
京都府立医科大学大学院 リハビリテーション医学 教授

2-SPS1-2 新体操と転倒

大坪 俊矢
崇城大学総合教育センター 助教

2-SPS1-3 サッカーにおける転倒予防と安全なプレー環境の実現

福嶋 洋
久留米工業高等専門学校 准教授/福岡大学大学院 スポーツ健康科学研究科 助教

11:20~11:55 企業展示プレゼンテーション

共催: CYBERDYNE 株式会社
FREE Bionics Japan 株式会社

12:30~13:30 ランチョンセミナー2

共催: インターリハ株式会社

座長 才藤 栄一 (藤田学園 最高顧問)

2-LS2 病院から在宅へ—高齢者の転倒予防—

近藤 和泉
国立長寿医療研究センター 病院長

13:40~15:10 特別シンポジウム2 「内科疾患と転倒」

座長 高橋 直子 (あかね会大町土谷クリニック 院長)
山内 希世 (国家公務員共済組合連合会 東京共済病院 医療安全対策室 師長)

2-SPS2-1 腎機能障害と転倒の関係～腎疾患患者が転びやすいのはなぜ?～

平塩 秀磨
国立病院機構 広島西医療センター 腎臓内科 医長

2-SPS2-2 関節リウマチ患者における転倒のリスク因子とその対策

多田 芳史
佐賀大学医学部附属病院 膠原病・リウマチ内科 診療教授

2-SPS2-3 内科疾患と転倒—回復期・生活期における転倒—

渡邊 進

熊本機能病院 副院長、総合リハビリテーションセンター長

15：20～16：20 スイーツセミナー 2

共催：株式会社 mediVR

座長 村田 和樹（佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科 助教）

2-SW2 仮想現実（VR）技術を用いた安全で効果的な新しい転倒予防

原 正彦

株式会社 mediVR 代表取締役／島根大学地域包括ケア教育研究センター 客員教授

第3会場 (1F 多目的室(113~118))

9:40~10:20 一般口演1 「家庭生活と転倒」

座長 上岡 洋晴 (東京農業大学地域環境科学部教養分野 教授)
山之内 直也 (佐賀県医療センター好生館 リハビリテーション科 部長)

3-1-1 家屋調査における3次元スキャンの検証

本田 昌義
国家公務員共済組合連合会 東京共済病院 リハビリテーション科

3-1-2 健康意識の改善に伴う、高齢者の転倒減少に関するパイロット研究

草地 海翔
総合病院岡山協立病院 リハビリテーション部

3-1-3 寄り添いロボット®を活用した自宅生活場面での複合動作の転倒リスク評価 ～脳卒中入院・外来患者の比較～

山田 周平
豊田地域医療センター リハビリテーションセンター

3-1-4 座位での足踏み動作のばらつきによる転倒経験者と非転倒経験者の分類 —必要な最小時間分解能の検討—

和田 直樹
株式会社ケアメディカル リハビリテーションサービス部 (24年11月15日まで産総研に在籍)

10:30~11:10 一般口演3 「転倒のリスク評価」

座長 渡邊 洋 (渡辺整形外科 医院長)
尾崎 まり (鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 部長)

3-3-1 超後期高齢者にFRIを用いた転倒リスク評価

—6か月間のインソール装着期間前後のFRIと身体機能との関連性—
瀧本 領
医療社団法人鴻愛会こうのす共生病院 リハビリテーション科

3-3-2 複数の機械学習を用いた急性期病院での転倒の予測性能の比較：スコアレビュー

後藤 健一
天理よろづ相談所病院 リハビリテーション部

3-3-3 転倒予防スクリーニング評価における足踏みの有用性の検討

比地岡 亮介
平塚共済病院 リハビリテーション科

3-3-4 回復期病棟における転倒リスク評価から求める理想的な歩行比についての検討

赤坂 真司
永山病院 リハビリテーション部

11：15～11：55 一般口演4 「転倒予防システム」

座長 平松 知子 (金沢医科大学看護学部 教授)
松本 浩実 (川崎医療福祉大学 理学療法学科 講師)

- 3-4-1** 急性期病院における転倒・転落アセスメントスコアシートに対する看護師の認識と活用の実態
三橋 親子
がん・感染症センター都立駒込病院
- 3-4-2** 回復期脳卒中患者に対する歩行自立時の転倒予防教育はその後の転倒リスクを減少させる
井上 靖悟
東京湾岸リハビリテーション病院
- 3-4-3** 転倒転落アセスメントシートで転倒転落は防止できるのか—再評価の実施状況の検討—
笠松 奈津子
医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 医療安全管理室
- 3-4-4** グループ病院における転倒・転落チーム活動の推進
～転倒・転落予防活動のための手引き書発行から5年後の実態～
黒川 美知代
日本赤十字社 医療事業推進本部 医療の質・研修部

12：30～13：30 ランチョンセミナー3 「床材と効果 臨床応用」

共催：TOPPAN 株式会社

座長 伊藤 直樹 (国立長寿医療研究センター 長寿医療研修部 高齢者臨床療法研修室 室長)

- 3-LS3-1** 介護・リハビリ施設における転倒事故と安全床の有用性
来栖 宏二
アゼリーグループ 社会福祉法人 江寿会 理事長
- 3-LS3-2** 転倒骨折リスク低減床材の性能評価理論と標準化
伊藤 安海
山梨大学大学院 総合研究部 工学部機械工学科 教授

13：40～14：30 一般口演5 「下肢運動器疾患と転倒」

座長 奥泉 宏康 (上田市武石診療所 所長)
油野 規代 (福井医療大学 保健医療学部看護学科 准教授)

- 3-5-1** 当院大腿骨近位部骨折地域連携パス対象患者における認知症患者の割合と転帰、転倒予防にむけての作業療法の取り組み
香月 直子
佐賀県医療センター好生館 リハビリテーションセンター
- 3-5-2** 膝および股関節の人工関節置換術における転倒・転落発生に関する術前因子
工藤 諄也
弘前記念病院 リハビリテーション科

- 3-5-3 人工股関節置換術後患者の転倒率と転倒に影響を与える因子の検討**
片岡 亮人
名古屋整形外科・人工関節クリニック リハビリテーション科
- 3-5-4 人工膝関節全置換術後の転倒方向による術後機能と活動性の比較**
藤原 秀平
名古屋整形外科人工関節クリニック リハビリテーション科
- 3-5-5 当院における大腿骨近位部骨折に対する二次性骨折予防に関する地域医療連携の現状と課題**
中村 紳一郎
市立福知山市民病院

14：35～15：25 一般口演7 「転倒予防への取り組みとその効果」

座長 二瓶 美里 (東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻 教授)
村山 明彦 (群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法専攻 准教授)

- 3-7-1 当院回復期病棟における多職種での転倒転落対策への取り組みとその効果**
佐藤 紀
社会医療法人凌雲会 稲次病院 リハビリテーション科/徳島大学病院 リハビリテーション部
- 3-7-2 転倒予防指導士を有するリハビリテーション療法士主導による転倒未然防止ラウンドの取り組み**
射場 靖弘
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部
- 3-7-3 運動器不安定症に対する理学療法の効果：当院の現状把握と今後の取り組み**
大道 淳
しらにた整形外科クリニック リハビリテーション科
- 3-7-4 A病棟における「セル看護提供方式」導入後の転倒・転落報告の現状と今後の課題**
田中 由香
済生会新潟病院 医療安全管理室
- 3-7-5 仮想ライトタッチによる立位機能評価システム StA²BLE—転倒災害対策への取り組み—**
島 圭介
横浜国立大学 大学院環境情報研究院/横浜国立大学 大学院総合学術高等研究院/
UNTRACKED 株式会社

15：30～16：20 一般口演9 「転倒予防に関わる機器」

座長 篠原 靖司 (立命館大学スポーツ健康科学部 教授)
内山 侑紀 (兵庫医科大学医学部リハビリテーション医学講座 准教授)

- 3-9-1 寄り添いロボットが重心移動距離と姿勢安定度評価指標および主観的安定感に与える影響**
大井 慶太
医療法人 珪山会 鶴飼病院 リハビリテーション科/星城大学大学院 健康支援学研究所

- 3-9-2** SL-HAL®を使用した歩行訓練の包含基準と除外基準に影響を及ぼす因子の検討
筒井 文也
耀光リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法課／
佐賀大学大学院 先進健康科学研究科 医科学コース
- 3-9-3** 慢性期脳卒中片麻痺患者に対しバランス練習アシストとスライド式バランス練習アシストの双方を実施した1例
角田 哲也
藤田医科大学医学部連携リハビリテーション医学講座
- 3-9-4** 靴底センサシステムを用いた歩行中の局所床反力、つま先クリアランス、ストライド長の同時計測
山口 健
東北大学大学院工学研究科／東北大学大学院医工学研究科
- 3-9-5** スライド式バランス練習アシストがバランス能力に与える影響
平野 哲
藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座

16：25～17：15 一般口演 11 「転倒予防に対するチーム医療」

座長 渡邊 進 (熊本機能病院 副院長、総合リハビリテーションセンター長)
安延 由紀子 (大阪保健医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 助教)

- 3-11-1** 当院転倒予防対策チームの立ち上げと活動報告
廣田 直也
大阪鉄道病院 理学療法士
- 3-11-2** ナースコールデータから見た病棟業務量が転倒にもたらす影響について
松元 裕明
医療法人ユウカリ さがみ林間病院 リハビリテーション科
- 3-11-3** 入院時に実施する転倒予防策は入院中の転倒傷害に関連しない可能性がある
平田 理紗
佐賀大学医学部附属病院 総合診療部
- 3-11-4** 夜間看護補助者業務と患者の転倒転落発生率の関係
古澤 悠紀子
高松市立みんなの病院 看護局 5E 病棟
- 3-11-5** 当院急性期脳卒中病棟における転倒対策と転倒関連因子の分析
田代 千晴
社会医療法人財団白十字会 白十字病院 リハビリテーション部

第4会場 (1F 多目的室(119~122))

9:40~10:20 一般口演2 「高齢者と転倒」

座長 北湯口 純 (身体教育医学研究所うんなん 副所長)
高山 かおる (埼玉県済生会川口総合病院 皮膚科主任部長)

- 4-2-1 身体機能変化に配慮した多職種連携製品開発プロセス
—身体保持力場の可視化に基づく日用品杖化の解明からデザイン評価まで—
野村 彩乃
東京科学大学
- 4-2-2 「はままつ健幸歩き」の考案
岩瀬 善之
浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション部
- 4-2-3 高齢者における転倒と地域社会活動参加頻度の関連性について—横断研究—
松本 浩実
川崎医療福祉大学 理学療法学科
- 4-2-4 地域在住高齢者の転倒回避動作におけるステップ戦略を判別する下肢敏捷性検査と筋力発揮率
越智 亮
星城大学リハビリテーション学部/星城大学大学院健康支援学研究科/山田病院リハビリテーション科

10:30~11:30 スポンサーセミナー1 共催：帝人ファーマ株式会社/帝人ヘルスケア株式会社

座長 高杉 紳一郎 (佐賀整肢学園こども発達医療センター 副院長)

- 4-SS1 脳卒中後遺症患者の転倒・骨折予防
～ボツリヌス療法と骨粗鬆症治療を併用する意味～
松瀬 博夫
久留米大学 リハビリテーションセンター 教授

13:40~14:30 一般口演6 「病院での転倒の現状と取り組み」

座長 黒川 美知代 (日本赤十字社 医療事業推進本部 医療の質・研修部 参事)
鶴川 俊洋 (鹿児島市立病院 リハビリテーション部 部長)

- 4-6-1 円滑なコミュニケーションと見守り方の標準化で転倒を減らす
～年度初めの転倒件数低減のための取り組み～
渡邊 真智子
袋井市立聖隷袋井市民病院 看護部
- 4-6-2 当院におけるリハビリテーション治療実施中の転倒・転落についての検討
村田 和樹
佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科

- 4-6-3 看護師間の情報共有とアセスメント能力向上、多職種連携による転倒転落減少への取り組み
市川 志織
九州大学病院 看護部
- 4-6-4 当院におけるリハビリテーション介入患者の転倒転落発生状況
田端 洋貴
近畿大学病院 リハビリテーション部
- 4-6-5 転倒転落対策ラウンドの実践報告～患者の尊厳・自立支援を守り損傷発生0へ向けて～
大久保 勇紀
医療法人社団愛友会 伊奈病院 リハビリテーション技術科

14：35～15：25 一般口演8 「病院における転倒予防への取り組み」

座長 饗場 郁子 (国立病院機構東名古屋病院 院長)
鮫島 直之 (東京共済病院 脳神経外科 部長)

- 4-8-1 当院における転倒・転落の現状～急性期における転倒・転落予防チーム介入の効果検証～
柳本 舜
いまきいれ総合病院 リハビリテーション課
- 4-8-2 当院での転倒転落予防に対する新しい取り組み
加藤 智裕
JA 愛知厚生連 安城更生病院 リハビリテーション室
- 4-8-3 転倒患者に対するアンケート調査から得た知見
漆館 俊尚
十和田市立中央病院 リハビリテーション科
- 4-8-4 循環器病棟における転倒予防対策チームの3年間の取り組み
前田 優希
大阪けいさつ病院
- 4-8-5 入院患者の平均年齢が80歳を超え運動器疾患が中心のリハビリテーション病院では入院直後の転倒率の上昇は必然ではない
菅沼 宏之
花川病院 リハビリテーション科

15：30～16：20 一般口演10 「転倒予防に対する各病院の挑戦」

座長 近藤 和泉 (国立長寿医療研究センター 病院長)
杉本 真理子 (医療法人社団 朋和会 西広島リハビリテーション病院 副院長/看護介護部部长)

- 4-10-1 転倒予防プロジェクトの活動 ～1つ1つの小さな灯を大きな光に～
近江 あかり
社会福祉法人聖テレジア会聖ヨゼフ病院 転倒予防プロジェクトチーム

- 4-10-2** 外来患者の転倒インシデント低減に向けた取り組み：転倒高リスク患者を早期に発見するために
 牧草 隆一
 しらにた整形外科クリニック リハビリテーション科
- 4-10-3** 当院における転倒転落事例の傾向調査 ～内科病棟と整形外科との比較～
 加島 知明
 社会医療法人三和会 永山病院 リハビリテーション部
- 4-10-4** 当院における転倒予防チームの立ち上げと実践報告
 大須賀 信吉
 医療法人真木会 真木病院 リハビリテーション科
- 4-10-5** 高齢者のフレイル・転倒等のリスク予知予防に資する重心動揺アセスメントを膝関節揺動で代用
 する計測システムの開発と事例
 長尾 光雄
 (株)菊池製作所大笹生研究所

16：25～17：15 一般口演 12 「転倒予防に対する様々なアプローチ」

座長 立入 久和 (たちいり整形外科 院長)
 橋口 知 (鹿児島大学学術研究院法文教育学域教育学系 教授)

- 4-12-1** 回復期リハビリテーション病棟入院中の高次脳機能障害を有した患者に対し、転倒予防具の工夫
 が転倒対策に効果的であった一症例
 渡邊 真也
 大阪鉄道病院 リハビリテーション室
- 4-12-2** ベンゾジアゼピン系睡眠薬処方を減らすことによる転倒予防効果
 井上 泰一
 自治医科大学附属病院 リハビリテーションセンター
- 4-12-3** 大腿骨近位部骨折に対する新しい予防策の提案「サルコペニアの股関節に加圧し筋肉を補強する
 エア誘導パンツ」
 石井 真介
 弘善会 矢木脳神経外科病院 整形外科
- 4-12-4** がん患者に特化した転倒予防パンフレット作成への取り組み
 油野 規代
 福井医療大学 保健医療学部看護学科
- 4-12-5** 大腿骨近位部骨折の歩行予後は転倒の原因に影響を受ける
 福島 斉
 大東文化大学 スポーツ・健康科学部

第5会場：ポスター会場（2F エントランスホール）

13：40～14：15 ポスター1 「病院の転倒と予防①」

座長 田中 慎一（医療法人安寿会 田中病院 リハビリテーション部 部長）

- 5-1-1 A病棟での転倒の実態と病棟看護師の転倒に対する認識
瞰野 裕子
国家公務員共済組合連合会 千早病院 看護部 2階病棟
- 5-1-2 転倒・転落予防に対する共通のアセスメント能力を身につける関わり
～フローチャートを病棟看護師へ周知して～
寺本 咲
鳥取大学医学部附属病院
- 5-1-3 アセスメントと転倒転落の関連性の調査～多職種介入の有効性を考えながら～
金子 由香子
医療法人社団愛友会伊奈病院 医療安全管理課
- 5-1-4 当院の転倒予防対策フローチャート改訂の取り組みについて
松重 喜久恵
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部
- 5-1-5 急性期病院における転倒予測 AI システムと看護必要度の比較検討
鈴木 亮馬
磐田市立総合病院 リハビリテーション技術科

13：40～14：15 ポスター2 「転倒予防に関わる機器」

座長 南里 悠介（佐賀リハビリテーション病院 医局長）

- 5-2-1 転倒予防を目的とした足関節背屈筋群の「ながらトレーニング」装置を用いた壮年期を対象とした筋力増強効果の検証
鷲塚 寛子
富山県立大学看護学部
- 5-2-2 当院回復期リハビリテーション病棟におけるバランス練習アシストの使用報告
片岡 壘羅
藤田医科大学七栗記念病院 リハビリテーション部
- 5-2-3 高齢者におけるトレッドミル環境に対する適応訓練の試み
天山 瑞希
田中病院 リハビリテーション科
- 5-2-4 高齢者に対する安全懸架装置装着下でのBBS評価の試み
今田 香菜
田中病院 リハビリテーション科

- 5-2-5 仮想ライトタッチが歩行中のバランス能力に与える影響の評価
小川 康太
横浜国立大学大学院 環境情報学府

13：40～14：15 ポスター3 「地域在住高齢者の転倒と予防」

座長 片瀧 宏輔 (佐賀県医療センター好生館 リハビリテーションセンター)

- 5-3-1 高崎調査に基づいたフレイル予防パンフレットの作成と配布
村山 明彦
群馬医療福祉大学
- 5-3-2 mediVR カグラを使用した転倒予防につながる介護予防の取り組み
佐藤 健仁
佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科
- 5-3-3 歩行アシストを使用した転倒につなげる介護予防活動の経過
佐藤 佑紀
佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科
- 5-3-4 障害者と高齢者が主体的に参加するインクルーシブ型転倒予防教室の紹介
村山 明彦
群馬医療福祉大学
- 5-3-5 小売業における転倒災害による頭部外傷や脳損傷等の特徴
菅 知絵美
労働安全衛生総合研究所

14：25～15：00 ポスター4 「病院の転倒と予防②」

座長 竹井 健夫 (佐賀大学医学部附属病院 先進総合機能回復センター 療法士長)

- 5-4-1 特別養護老人ホームにおける転倒・転落についての検討
矢山 柚衣
佐賀大学医学部附属病院
- 5-4-2 転倒予防の観点での短下肢装具の種類選択について
矢原 有紗
佐賀大学医学部附属病院
- 5-4-3 当院における転倒件数増加の原因と今後の課題—ヒヤリハット分析から—
萩山 利恵
道後温泉病院 看護部
- 5-4-4 当病院 A 病棟における転倒転落予防対策の有効性の評価と今後の課題
成田 陽
心臓血管センター 岡村記念病院／病棟

- 5-4-5 多職種と転倒予防の取り組み
田中 慎一
田中病院 リハビリテーション科

14：25～15：00 ポスター 5 「転倒と心身機能」

座長 佐藤 佑紀 (佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科)

- 5-5-1 高次脳機能障害者に対する日本語版 STRATIFY の活用検討について
溝田 理恵
佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科
- 5-5-2 TMT-J の健常者における標準化データと転倒にて受傷経験のある当院患者との検査結果の比較
田原 太貴
田中病院 リハビリテーション科
- 5-5-3 通所リハビリテーションを利用する軽度の要介護高齢者の認識誤差と心身機能の関連
金澤 遼太
青森県立保健大学大学院健康科学研究科／介護老人保健施設青森ナーシングライフ
- 5-5-4 高齢者における障害物歩行時の視線解析の試み
澄川 幸志
福島県立医科大学 保健科学部 作業療法学科
- 5-5-5 不整地マット使用による前足部における圧力の変化について
～5 歳児を対象に～
平尾 文
広島都市学園大学

14：25～15：00 ポスター 6 「疾病と転倒／転倒から派生した着眼」

座長 伊藤 由美 (佐賀整肢学園からつ医療福祉センター)

- 5-6-1 ホルモン療法を受ける患者に対する転倒骨折予防対策
山中 祐二
東広島医療センター 看護部手術室
- 5-6-2 進行性核上性麻痺患者の転倒頻度に関連する運動機能
松田 直美
国立病院機構東名古屋病院 リハビリテーション科／
中部大学大学院 生命健康科学研究科 リハビリテーション学専攻
- 5-6-3 HAL リハビリテーションと AFO で転倒防止に繋がった筋萎縮性側索硬化症の 1 例
田中 玲
佐賀大学医学部附属病院 先進総合機能回復センター

- 5-6-4** 転倒発生が多い床・地面における大腿部受傷リスクの比較
～安全床の受傷リスク低減効果の検証～
西村 風牙
山梨大学 安全医工学研究室
- 5-6-5** 転倒経験者は自動車運転でも自転車運転でも事故を起こしやすい
新開 由香理
一般社団法人 JA 共済総合研究所

エコーセミナー会場 (1F 多目的室(125))

【第1部】 9:00~10:30 / 【第2部】 11:00~12:00

日本転倒予防学会第11回学術集会&リハビリテーション科女性医師ネットワーク (RJN) 合同ワークショップ「初めてのエコーセミナー IN SAGA」

- 企画 三苦 純子 (特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター リハビリテーション科)
山口 朋子 (福井大学医学部地域高度医療推進講座)
- 講師 深澤 真弓 (済生会宇都宮病院 整形外科)
栗原 由佳 (湘南東部総合病院 診療部リハビリテーション科)
蜂須賀明子 (産業医科大学若松病院 リハビリテーション科)
三苦 純子 (特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター リハビリテーション科)
山口 朋子 (福井大学医学部地域高度医療推進講座)
- 協力 リハビリテーション科女性医師ネットワーク (Rehabilitation Joy Network)
- 内容 第1部 (9:00~10:30) 定員:10名
エコーの基本走査と各組織のみかた一痙縮治療で転倒予防一
第2部 (11:00~12:00) 定員:10名
転倒予防に活かすエコーちよいあて一運動器の診断と治療一